

## 地域資源磨き 観光振興を

横山 隆生 議員



選挙区 東伯郡 会派 希望

**問** 観光の地域づくりでは、来県者が伝統行事に参加でき、食を堪能できることが必要で、地域資源の磨き上げも重要。所見を問う②とつとりグリーンウェイブを前進させるために、公園や道路などの植栽を全体的に統一したデザイン導入し、一元的に管理する部署を新設しては。

**答** ①観光と伝統芸能、食のコラボは私たちの弱い所。しっかり掘り起こし、キャンペーンしていく②議員の質問を聞いて、緑のガイドラインのようなものを作って、国や市町村にも訴求させてはと思った。

## 産業再生による まちづくり

国岡 智志 議員



選挙区 八頭郡 会派 希望

**問** ①伝統の技を持つ職人が時代の流れと共に激減しようとしている今、伝統技術を守る為の現実的で実効性のある施策が必要では②

小規模農家が、東京・関西圏に販売しやすくする為の集積拠点、流通システム、販路拡大の検討が必要では③地元の企業を支えるとともに、きめ細やかな企業誘致策が必要では。

**答** ①現行施策の改善点等を調査したい②販路開拓を支援するメニューをつくり、応援していきたい③地域の企業の雇用力もテコ入れしていきたい。

## 中小企業の 事業承継策を

広谷 直樹 議員



選挙区 岩美郡 会派 自由民主党

**問** 昨年、県商工会連合会が行ったアンケート結果で、会員企業の6割に後継者がいないとの結果であり、後継者不在で廃業をする例もある。事業承継の課題が明らかであるが、県としても前向きに取り組むべきと考えるが知事の所見を伺う。

**答** 後継者に悩んでいるのが現実の実態であり、新年度に向けて取り組むテーマにしたい。データベースを作り全国の中でマッチングを図るなど、新年度、事業引き継ぎ支援センターを県内に設置

し、事業承継の多角化を図ってみたい。

## 発達障がい者 就労支援など

澤 紀男 議員



選挙区 米子市 会派 公明党

**問** 県内企業への発達障がいの理解を高める啓発について、どう取り組んでいるのか。

**答** 職場での配慮を掲載したリーフレットの作成のほか、障がい者を雇用している企業の見学など企業向けの研修会を開催する。

**問** 新規漁業者を育成する上で漁業経営開始円滑化事業の県助成割合を2分の1に戻すべきと考える。

**答** 指摘を踏まえ、同制度による漁業開始の支援について従来のスキームを維持する方向で制度を見直していきたい。

## 米価暴落の 緊急対策を

錦織 陽子 議員



選挙区 米子市 会派 共産党

**問** 米価暴落で農家は米を作ってもご飯が食べられない①暴落の理由は②全県での減収額③国に直接

支払交付金の復活、過剰な25年産米の買上げ、コメの需給と価格安定の責任を求めよ④県は生産費補填と農機具代貸付金の返済猶予を。

**答** ①政府の需給調整のコントロールミスだ②減収は約31億円③国に需給調整をしっかりと求める。交付金等は国で判断すべき④地方レベルの補填は財政的に困難。農機具購入等貸付金返済猶予は声があれば融資機関に伝える。

## 平和、子育て 医療介護充実

市谷 知子 議員



選挙区 鳥取市 会派 共産党

**問** ①美保基地での米軍訓練中止を②沖底船維持対策を③子育て新制度で県制度を後退させないこと④給付制奨学金制度創設を⑤医療介護法で病床削減するな。デイサービスにスプリングカラー設置助成を。

**答** ①内容すら知らず、強く事前説明を求めた②国制度復活を要望。中古船活用の手続き簡素化・年齢要件緩和、作業灯LED化事業復活を検討③保育料軽減・学童保育加算・届出保育所助成の継続を検討④慎重に検討⑤権限行使してまで病床削減しない。設置助成しない。

## 境港をめぐる二つの問題

安田 優子 議員



選挙区 境港市 会派 自由民主党

**問** ① 隠岐航路の本土側寄港地を巡り、隠岐から一本化を求める声が増えている。永く深い歴史を持つ境港と隠岐の縁が途切れないことを望む② マグロの漁獲制限が始まる。水揚げ日本一を誇る境港はその影響を不安視している。

**答** ① 最終的には航路を活用する隠岐の皆様の判断が尊重されるべきで、航路の存続に向けて真摯に向き合いたい② 境港への割当てはまだ不透明で、これからが正念場である。地元と協議して作戦を練り、国に働きかけていく。

## 米子駅北口再開発

内田 隆嗣 議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

**問** 米子駅南北一体化は、だんだん広場からハーベストインまでのスペースを大胆に開発して、北口を商都米子復活のシンボルにするべきでは。

**答** 米子市が実施しようとしている

が、駅北広場の不足する駐車場やバスやタクシーの乗り場等のスペースを駅南広場に作っていくことが必要だ。駅北広場全体の整備構想の中でだんだん広場も検討することになるだろう。JRの駅ビルの整備内容が確定後、駅北の整備は本格的に検討することになる。と考える。

## 市町村交付金制度の拡充を

伊藤 保議員



選挙区 東伯郡 会派 絆

**問** 平成18年度から始まった市町村交付金制度。事務の簡素化の観点から市町村に好評な制度である。市町村の自立を高め、地域主権・地方創生の観点からも、市町村の意見を聞きながら制度の拡充を検討すべきではないか。

**答** 元々は泡沫的な補助金を集合させたもので、ロットも小さい。地方創生という掛け声がある中、一つの理念として、自由度というものをきちんと持ったうえで、無用な手間をかけない新しい制度、新しいやり方を追求してみたい。



## 6次産業化の振興について

浜崎 晋一 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

**問** ① 6次産業化を推進するためには、経営者マインドを持った人づくりが肝要だ。知事の考えは② 6次産業化に挑戦していく次世代の人材の育成方針を教育長に伺う。

**答** ① 今、食品加工産業が成長し始めている。人材を育てるには絶好の機会なので、教育委員会と一緒に環境づくりを進めたい② (教育長) 高校生が地域と密着して、地域の資源を知り、また、様々な産業を学ぶことなどを通じ、将来、6次産業化に挑戦し、地域産業、地域活性化の担い手となることを期待している。

## 都市計画の区域確定

森 雅幹 議員



選挙区 米子市 会派 絆

**問** 市街化調整区域の中には、コミュニティの維持さえ困難になってきているところがある。区域の確定は、市街化区域、調整区域とも双方住民にメリットが必要ではないか。

**答** にぎわいをつくるための都市計画であって、どこかの地域を見捨てるための都市計画ではあってはいけない。まちのにぎわいと、農村の豊かさを両立をさせるべく、今回の見直しで市街化区域の周辺(調整区域)で、自己用住宅の建設を可能とする都計法34条11号区域の拡大緩和を記載している。



答弁者は、記載のないものは知事(各部署長の答弁も含む)。教育長、警察本部長、選挙管理委員会委員長は知事の部局ではないため別に表記した。